2024 年 株式会社晃建 DX 方針

株式会社晃建
代表取締役社長
上甲　晃久

企業経営の方向性と DX 方針

デジタル技術で「新たな価値の創造」へ

当社は「愛媛県で自らの夢に挑戦し、実現する会社となる」をビジョンに掲げ、デジタル技術を駆使して経営戦略を推進しています。

昨今、デジタル技術の急速な進歩により、建設業界を取り巻く環境も大きく変化しています。この変化は、業務効率化だけでなく、新たな価値創造や競争優位性の確立にも大きな影響を与えています。当社はこの変化を積極的に捉え、デジタル技術を戦略的に活用することで、市場での差別化を図り、顧客満足度の向上と事業拡大を目指します。

これらの取り組みを通じて、当社は愛媛県を拠点としながら、デジタル技術を活用した新たな価値創造と競争優位性の確立を実現し、持続可能な成長と地域社会への貢献を目指します。変化する市場環境に柔軟に適応しつつ、デジタル技術を戦略的に活用することで、業界のリーディングカンパニーとしての地位を確立していきます。

具体的には、以下の取り組みを通じて DX を実現し、地域社会に貢献することを目指しています。

１．「デジタル技術の活用と具体的な取り組み」

- Google カレンダーの活用: スタッフの稼働と予定を効率的に管理
- 建工管理ツールの導入: 案件管理を一元化し、プロジェクトの進捗を可視化
- Freee での勤怠管理: 効率的な勤怠管理システムにより、業務プロセスを改善
- Safiepocket2 による現場確認: 現場のリアルタイム状況を確認し、迅速な対応を可能
- Google ドライブでの図面・写真管理・共有: クラウドを利用して図面・写真を管理・共有し、最新情報へ常にアクセス可能に
- インスタグラムでの工事情報発信: インスタグラムを活用して工事情報を発信し、顧客とのコミュニケーションを強化

２．「デジタル基盤の整備」

- 基幹システムの刷新: 最新の情報処理技術を活用したシステムを導入し、業務の効率化とセキュリティの強化を図る
- クラウド基盤の強化: データの一元管理と柔軟な運用を可能にするクラウド基盤を強化

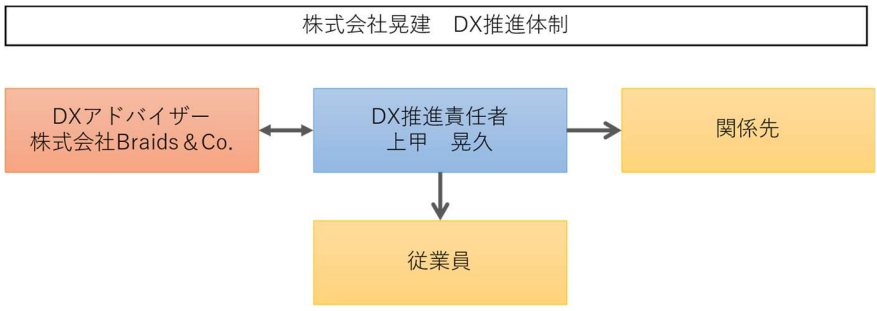
３．「サイバーセキュリティ対策」

当社は、定期的なウイルススキャンの実施、専門家からのセキュリティ講習によるヒューマンエラーでのセキュリティリスクの低減を実施しています。

また、サイバーリスク発生時に最短で対応可能な専門家とのリアルタイムコミュニケーションを導入しています。

４．「DX 推進体制」

当社は、デジタル戦略の実施を推進するために専任の DX アドバイザーと契約し、社内 DX を推進しています。また、代表自身がアドバイザーからのセミナー受講・DX 展示会に参加するなど最新技術の学習及び自社への活用を目指します。



5．「DX で目指す未来」

当社は、DX 推進により目標の定量数値を設定いたしました。

本 DX 推進宣言に基づき。下記目標の達成を目指していきます。

1. **業務効率の向上**
    - 2026 年までに業務プロセスの自動化を進め、全体の業務効率を 20%向上

2. **紙の排出量削減**
    - デジタル技術を活用してペーパーレス化を推進し、2026 年までに紙の排出量 30%削減
3. **WEB 活用による採用人数増加およびビジネスチャンスの創出**
    - SNS・WEB を活用して企業の知名度を高め、採用人数を 20%増加させるとともに、新たなビジネスチャンスを創出し売上高を 20%向上

お問い合わせ

DX 推進に関する詳細やご質問は、以下の窓口までお問い合わせください。

- お問い合わせ先: 株式会社晃建
- 電話番号:0894-69-5110